

YEAR BOOK 2019

日本体育大学
野球部

日本体育大学
硬式野球部OB会

会長

伊東 与二



真のスポーツマンシップ

全国各地でご活躍のOB会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、大学日本一奪還を目指した日体大野球部が、令和の新時代を迎え、どのような戦いを見せるか楽しみにしていましたが、昨年は春も秋も東海大が優勝し、皆様に大変残念な結果をお知らせしたことを心からお詫び申し上げます。

しかしながら、プロ野球界にデビューした西武の松本投手、横浜の大貫投手、ロッテの東妻投手が大車輪の活躍を見せ、秋のドラフト会議でも吉田投手がヤクルトに2位指名されました。まずは面目躍如といったところです。

また、夏の甲子園大会には日体大関係者は16校17名が出場し、中でも、岡田龍生監督（昭59年卒）の率いる履正社高校が念願の日本一に輝くなど、社会人野球も含めて、日体大OBが各界各層で大活躍した年となりました。

そして今夏は、いよいよ2020年東京五輪が開催され、国民に感動と勇氣、子供たちに夢と希望を与える絶好の機会が訪れます。昨年のラグビーの熱い闘いに怯むことなく、野球界も一丸となって五輪の大成に貢献したいと思ひます。

ここで、五輪選手を数多く輩出してきた日体大として、皆様と一緒に「スポーツマンシップ」について再考したいと思います。

現在の野球界では、東京五輪を契機に野球の未来に何を残すかが問われています。金メダルを目指すのは言うまでもなく、野球人として、野球の魅力や価値を世界に発信し、未来のスポーツ界に繋げる使命があるということなのです。

ご存知の通り、スポーツマンシップとはリスペクト（尊敬）であり、他者を認め、仲間や相手、審判員を尊重した上で定められたルールに則り戦うことです。日本の野球が「勝利至上主義」に冒されていると批判されています。「サイン盗み」や「激しいヤジで威嚇しても勝つ」という時代錯誤的な野球です。ルール以前にあるべき「品性」や「高潔さ」が欠落すると、勝利至上に走ってしまいます。ルールブックに書いてなければ裏をかくても構わないという発想は、世界では通用しません。「強さと品性の体現」が不可欠だということなのです。

いずれにしても、日体大野球部は、これまでと同様、「真のスポーツマンシップ」を発揮し、日本一奪還は勿論のこと、「野球界の目標」となることが期待されているのです。

会員の皆様には、OB会の充実と野球部の強化・飛躍に向けて、更なる温かいご指導とご支援をお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



日本体育大学
硬式野球部
監督
古城隆利

原点回帰

日頃より野球部活動にご支援をいただき、誠にありがとうございます。

一昨年の松本（西武ライオンズ）、東妻（千葉ロッテ）に続き、昨年は、吉田大喜（大冠）が東京ヤクルトスワローズから2位指名を受けました。プロに行く投手がいる中で2年連続の敗戦、皆様のご期待を裏切る結果となり、監督としての責任を重く感じております。

この二年間の反省の基、リーグ優勝、全国制覇を目指す為に、日本一を獲得した時のようなバツテリを中心とした守備を固め、攻撃に移るチーム、1点をもぎ取る野球もできる、『負けないチーム』を原点に立ち返りチームを作っていくと思っています。

更に、指示を待つだけでなく、自ら考え、動くことができる選手になるように練習の仕

組みも変え、また、ミーティングも重ね『体育会イノベーション』も新たな段階の取り組みも行ってまいります。

さて、今年の戦力ですが、投手陣は、侍ジャパン大学代表候補の森（4年・豊川）と矢澤（2年・藤嶺藤沢）が中心となります。森は150キロのストレートと鋭い変化球が武器、矢澤は運動能力の高い選手で二刀流として投打での活躍に期待しております。また、怪我で苦しんだ吉高（4年・明石商業）もラストシーズンに向けて順調に回復しております。

一方で野手は、新キャプテン高垣（4年・智辯学園和歌山）、下級生からクリーンアップを打った三野原（3年・東福岡）と猪原（3年・大冠）稲本（2年・福大大濠）などを中心に課題である打撃力アップを期待しております。

首都大学野球連盟の他大学にも強力な戦力がありますが、必ず勝ち勝って、優勝という結果をご報告いたします。

本年度も、よろしくお願ひ申し上げます。



Ⓢ 日体大硬式野球部 Ⓢ 令和元年度 部員名簿

 部長 波多腰 克晃	 監督 古城 隆利	 助監督 黒木 豪	 コーチ 辻 孟彦	 コーチ 有澤 渉	 マネージャー 中村 友志 4年 日大藤沢高
 マネージャー 中瀬 由 4年 日本航空石川高	 投手: 川井 智也 14 168/73/左・左 4年 健大高崎高	 投手: 春田 優成 16 175/77/左・左 4年 波佐見高	 投手: 北山 比呂 17 176/79/右・右 4年 横浜高	 投手: 吉田 大喜 18 175/77/右・右 4年 大冠高	 投手: 吉高 壯 1 170/79/右・左 3年 明石商高
 投手: 森 博人 11 175/79/右・右 3年 豊川高	 投手: 早稲田 玲央 13 178/80/左・左 2年 宇部鴻城高	 投手: 川畑 大地 15 174/65/右・右 1年 乙訓高	 投手: 矢澤 宏太 19 173/65/左・左 1年 藤嶺学園藤沢高	 捕手: 馬場 龍星 22 170/73/右・右 4年 八戸学院光星高	 捕手: 堀口 遼馬 20 170/81/右・右 2年 日大藤沢高
 捕手: 猪原 隆雅 25 177/84/右・右 2年 大冠高	 捕手: 安藤 諭 26 182/82/右・右 2年 健大高崎高	 内野手: 高山 凌 4 173/74/右・左 4年 海星高	 内野手: 小林 虎太郎 3 175/75/左・左 3年 作新学院高	 内野手: 高垣 鋭次 6 180/80/右・右 3年 智辯和歌山高	 内野手: 松下 雄大 7 170/74/右・右 3年 明石商業高
 内野手: 三野原 愛望 24 181/81/右・左 2年 東福岡高	 内野手: 稲本 侑星 31 173/78/右・左 1年 福岡大大濠高	 内野手: 小儀 純也 33 168/72/右・右 1年 霞ヶ浦高	 外野手: 上西 嵐満 10 178/80/右・左 4年 宇部鴻城高	 外野手: 大木 惇司 5 176/81/右・両 4年 東福岡高	 外野手: 倉田 英明 12 182/77/右・右 4年 駒澤大学
 外野手: 関谷 将貴 2 177/67/右・右 3年 春日部共栄高	 外野手: 宮木 紳道 8 168/76/左・左 3年 日大三高	 外野手: 橋本 篤弥 28 178/78/右・左 2年 敦賀気比高	 外野手: 細田 悠貴 29 177/82/右・左 2年 木更津総合高	 外野手: ワラス 開智 34 170/73/右・左 2年 常磐大学	 外野手: 大塚 晃平 35 181/78/右・右 1年 日大三高

	守備位置	氏名	学部	学年	身長	体重	投・打	出身校
	投手	3 柴田 大地	体育	4	180	85	右・右	日体荏原高
		5 湊谷 勇次	体育	4	181	73	右・右	中標津高
		7 上羽 一平	体育	3	176	74	右・右	紫野高
		8 大八木 涼真	体育	3	166	62	左・左	藤沢西高
		11 伊藤 敦紀	スポーツマネジメント	2	181	75	右・左	健大高崎高
		12 岡部 仁	体育	2	175	75	右・左	日本大学第三高
		13 川崎 翔生	体育	2	168	65	右・右	厚木西高
		14 北 拓海	体育	2	177	73	左・左	智辯和歌山高
		15 筒井 恒匡	体育	2	180	78	右・右	松本工業高
		16 鳥谷部 慎吾	体育	2	178	81	左・左	弘前東高
		17 中津 秀太	体育	2	181	70	右・右	京都外大西高
		18 堀江 優羽	体育	2	170	73	右・右	水戸商業高
		19 水野 晋太郎	体育	2	165	65	右・左	三重高
		21 青山 光太郎	体育	1	177	77	右・右	八王子高
		22 大木 喬也	体育	1	174	70	左・左	春日部共栄高
		23 岡田 龍生	体育	1	181	86	左・左	麗正社高
		24 勝田 慧吾	体育	1	172	65	右・右	前橋育英高
		25 藤本 樹	体育	1	191	91	右・右	明石商業高
		27 郷田 恵人	保健医療	1	173	81	右・右	早稲田摂陵高
		28 鈴木 友崇	スポーツマネジメント	1	165	60	右・右	宇都宮南高
		29 箱山 慶人	体育	1	184	87	右・右	日体大柏高
		30 平田 龍輝	体育	1	185	84	右・右	智辯学園和歌山高
		32 吉川 幸輝	体育	1	176	70	右・右	高知西高
		33 石井 太一	体育	4	171	74	右・右	千葉敬愛高
		35 小口 丞太郎	体育	3	184	76	右・右	関西中央高
		38 一瀬 亮弘	スポーツマネジメント	2	167	77	右・右	甲府西高
		40 猪飼 遼太郎	スポーツマネジメント	1	173	70	右・右	広島観音高
		41 石川 翔夢	体育	1	169	80	右・左	利府高
		42 宗平 幸晴	体育	1	169	69	右・左	岡崎北高
		43 佐藤 寛誌	体育	1	182	75	右・左	玉野光南高
		44 佐藤 大和	体育	1	174	78	右・右	いなべ総合学園高
		45 徳力 龍之介	体育	1	177	84	右・右	上宮高
		46 富松 孝介	児童スポーツ教育	1	179	85	右・左	大分上野丘高
		47 橋本 碩祐	スポーツマネジメント	1	177	83	右・右	桜宮高
		48 方尺 謙伸	体育	1	173	85	右・右	長崎海星高
	49 安井 太規	体育	1	174	85	右・右	愛工大名電高	
	50 渡邊 真太	体育	1	180	82	右・右	関西西高	
	51 太田 和希	体育	4	168	61	右・左	大船高	
	52 大基 雄久	体育	4	171	65	右・右	八頭高	
	53 河上 颯	体育	4	177	90	左・左	立花学園高	
	54 川崎 拳士朗	体育	4	182	96	右・右	日本大学第三高	
	56 神田 将嗣	体育	3	169	61	右・左	いなべ総合学園高	
	58 志賀 元洋	体育	3	177	92	右・右	豊田西高	
	59 菅野 康之	体育	3	164	57	右・左	安達高	
	61 谷口 泰翔	体育	3	176	68	右・左	日章学園高	
	63 和田 蓮次郎	体育	3	171	66	右・右	済美学園済美高	
	64 瀨美 陸	体育	2	175	80	右・左	日大高	
	65 石井 幸大	体育	2	177	70	右・左	愛工大名電高	
	66 石井 正純	体育	2	172	70	右・右	桜修館高	
	67 市村 拓巳	体育	2	182	82	右・右	横浜高	
	68 斎藤 友哉	スポーツマネジメント	2	168	70	右・右	福大深高	
	69 鈴木 三志郎	スポーツマネジメント	2	180	79	右・左	オイスカ高	
	70 添田 真聖	スポーツマネジメント	2	170	68	右・左	作新学院高	
	71 ソシ スンピン	体育	2	181	95	右・右	ブーチャン高	
	72 次森 大翔	体育	2	170	73	右・左	大分雄城台高	
	73 殿谷 小次郎	体育	2	174	73	右・右	市立尼崎高	
	74 久永 悠太	スポーツマネジメント	2	167	64	右・右	東海大福岡高	
	75 古川 航輝	スポーツマネジメント	2	183	97	右・左	佐賀北高	
	76 松尾 大志	スポーツマネジメント	2	169	54	右・右	蘇南高	
	78 青木 大晟	体育	1	170	70	右・左	日体大荏原高	
	79 秋津 拓郎	体育	1	168	65	右・右	萩高	
	80 有住 昂大	スポーツマネジメント	1	176	77	右・左	明秀学園日立高	
	81 井阪 太一	スポーツマネジメント	1	178	85	右・左	大阪桐蔭高	
	82 糸井 浩平	体育	1	170	70	右・右	東日本国際大昌平高	
	84 植木 智哉	体育	1	180	180	右・左	桐生高	
	85 打田 啓将	スポーツマネジメント	1	170	75	右・左	宇都宮南高	
	86 大谷 達也	体育	1	169	63	右・右	日体大柏高	
	88 北内 真太	スポーツマネジメント	1	174	68	右・右	上尾高	
	89 小林 拓真	体育	1	179	74	右・右	樹徳高	
	90 後石原 功太郎	体育	1	178	73	右・左	御殿場南高	
	91 高柳 慧	体育	1	182	84	右・右	市立金沢高	
	92 竹田 有男	体育	1	180	88	右・右	熊本城北高	
	93 友田 和志	体育	1	173	60	右・右	下松高	
	94 中村 航晟	体育	1	178	89	右・左	筑陽学園高	
	95 中村 裕貴	体育	1	166	70	右・右	浜松日体高	
	96 新田 将也	スポーツ文化	1	177	76	右・左	桐蔭学園高	
	97 播田 大和	体育	1	168	73	右・左	愛媛県立小松高	
	98 三木 彰智	体育	1	174	78	右・右	麗正社高	
	99 山本 修平	体育	1	175	77	右・左	川越東高	
	100 有住 隆哉	体育	4	173	71	右・左	明秀学園日立高	
	101 石田 玄太	体育	4	176	73	右・左	前橋育英高	
	102 池口 将広	体育	4	169	69	右・右	新羽高	
	105 紀伊 海秀	体育	4	183	84	右・右	仙台育英学園高	

	守備位置	氏名	学部	学年	身長	体重	投・打	出身校
	外野手	107 松本 大輝	体育	4	170	76	右・右	桜宮高
		108 森 大河	体育	4	173	80	右・右	志学館高
		109 林 海知	体育	4	171	76	右・右	川崎北高
		110 井上 凌	体育	3	170	76	右・右	高野山高
		112 常田 真央	体育	3	173	76	右・右	長野日大高
		113 野崎 巖希	体育	3	170	67	右・右	日体大柏高
		114 前田 大輝	体育	3	179	70	右・右	市立尼崎高
		116 椎名 修大	体育	2	176	77	右・右	遊学館高
		119 前田 優太	保健医療	2	167	69	右・両	静岡高
		120 山本 貴大	体育	2	179	80	右・右	羽水高
		121 米田 智朗	スポーツマネジメント	2	181	79	右・右	星城高
		123 秋元 拓也	体育	1	176	69	右・右	桜林高
		124 阿部 海史	体育	1	162	52	左・左	湯本高
		125 榎本 直樹	スポーツマネジメント	1	171	68	右・右	佼成学園高
		127 大谷 尚輝	体育	1	167	65	右・左	葦山高
		128 加藤 琢斗	体育	1	170	69	右・左	島津高
		129 川越 匠人	スポーツマネジメント	1	177	68	右・右	高鍋高
		130 國井 雅貴	体育	1	170	74	左・左	城東高
		131 小菅 広大	体育	1	175	78	右・右	暁星国際高
		132 小松 俊夢	体育	1	180	80	右・左	日大藤沢高
		133 佐々木 大夢	体育	1	169	72	右・右	金足農業高
		134 佐山 祐輔	スポーツマネジメント	1	171	71	右・右	宇都宮南高
		135 須藤 惇	体育	1	181	88	右・右	長岡高
		136 平良 豪雅	保健医療	1	174	80	右・右	興南高
		137 千葉 大輔	スポーツ文化	1	178	70	左・左	盛岡大附高
		138 西岡 秀太	体育	1	176	83	右・右	星稜高
		139 野口 厚太	児童スポーツ教育	1	179	82	右・右	東明館高
		140 藤川 寿真	体育	1	182	83	右・右	常総学院高
		141 松本 佳高	スポーツマネジメント	1	179	77	右・右	初芝立命館高
		142 宮川 寛志	スポーツマネジメント	1	177	70	右・右	奈良大附高
		143 宮崎 礼生	体育	1	166	70	右・左	伊豆中央高
		144 山崎 俊介	体育	1	179	92	右・右	九州学院高
		145 雨川 春樹	体育	4				大分商業高
		146 岩本 陸	体育	4				城西大川越高
		147 加藤 洋樹	体育	4				旭川北高
	148 大保 駿治	体育	4				市立尼崎高	
	149 窪田 海夏人	体育	4				草津東高	
	150 佐藤 晃一	体育	4				久留米高	
	151 相馬 利気	体育	4				桐蔭学園高	
	152 徳山 仁	体育	4				湘南工科大附高	
	153 中村 友志	体育	4				日大藤沢高	
	154 長岡 孝洋	体育	4				大宮西高	
	155 門間 優太	体育	4				桐蔭学園高	
	156 福島 大貴	体育	4				岩村田高	
	157 山田 雄熙	体育	4				紋別高	
	158 渡邊 誉人	体育	4				苫小牧東高	
	159 荒 祐広	体育	3				常総学院高	
	160 小川 優介	体育	3				日黒学院高	
	161 柿原 太一	体育	3				伊奈学園総合高	
	162 木下 豪大	体育	3				IMG Academy	
	163 酒井 盛光	体育	3				日体大荏原高	
	164 多田 峻樹	体育	3				日体大柏高	
	165 学生コーチ 土谷 一志	体育	3				長崎海星高	
	166 鶴田 純大	体育	3				近大附高	
	167 萩原 大	体育	3				長野県立飯山高	
	168 松野 礼生	体育	3				九州学院高	
	169 塙 悠汰	体育	3				茨城キリスト教学園高	
	170 水島 涼	体育	3				広陵高	
	171 野口 球道	体育	3				小杉高	
	172 青木 鴻奈	体育	2				中部大第一高	
	173 牛木 大志	体育	2				高田城北高	
	174 大隈 都也	体育	2				浜松日体高	
	175 大塚 輝	スポーツマネジメント	3				向上高	
	176 岡 奏生	体育	2				玉野光南高	
	177 栂澤 寛太	体育	2				浦和東高	
	178 木部 聖	スポーツ文化	2				県立岐阜商業高	
	179 小柳 勇人	体育	2				宮崎南高	
	180 相馬 陸虎	体育	2				都城西高	
	181 菅野 凱斗	体育	2				大塚高	
	182 田中 真	体育	2				光泉高	
	183 塚中 丈太郎	体育	2				浜松日体高	
	184 和田 翔太	体育	2				浜松日体高	
	185 山田 滯史	体育	1				北海道科学大学高	
	186 中瀬 由	体育	4				日本航空高石川	
	187 池亀 諒哉	スポーツ文化	3				広島国際学院高	
	188 鈴木 美南	体育	3				七里が浜高	
	189 山口 輝将	体育	3				麻溝台高	
	190 マネージャー 畑中 壮太郎	スポーツマネジメント	2				三田学園高	
	191 原 泰士	体育	2				東海大諏訪高	
	192 山浦 翼萌	スポーツマネジメント	2				学法石川高	
	193 青木 来夢	体育	1				麻布大附高	
	194 倉科 奈桜	体育	1				飯山高	

4月6日(土)

審判/C:中川 I:玉置 II:増山 III:滝沢

試合データ

1回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
日本体育大学	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
帝京大学	2	0	0	0	0	0	0	1	X	3

チーム	日本体育大学	帝京大学
本塁打	上西(1号2ラン)	原田(1号ソロ)
三塁打		
二塁打		後藤

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
吉田	4	大冠	6 2/3	26	4	2
●森	3	豊川	1 1/3	5	1	1

打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	上西	4	宇部鴻城	4	2	2
2	⑦	大木惇	4	東福岡	3	0	0
	H	ワラス	2	常磐大学	1	0	0
3	④	三野原	2	東福岡	4	1	0
4	③	猪原	2	大冠	4	2	0
5	(D)	橋本	2	敦賀気比	1	0	0
	HD	小儀	1	霞ヶ浦	2	0	0
6	⑥	高垣	3	智辯学園和歌山	4	0	0
7	⑤	稲本	1	福岡大大濠	4	1	0
8	②	馬場	4	八戸学院光星	3	1	0
9	⑨	矢澤	1	藤嶺学園藤沢	3	1	0

● 上西の同点2ラン実らず、森勝ち越しホームラン被弾

2点リードされた0-2の七回無死。一塁に四球のルーキー9番矢澤を置き、1番の上西主将がカウント3-2からの6球目を豪快に右中間席へ叩き込んだ。

これで試合の流れは日体大に傾きかける。代わった金田に七回と八回、いずれも二死から猪原、馬場が安打を奪ったものの、後続がない。

一方、七回二死二塁の場面で吉田をリリーフした3年生右腕の森。代打を空振り三振に。だが、続く八回、先頭の右打者に右翼席へ勝ち越しホームランを浴びた。

敗因は、再三決定打を欠いた打撃と、初の開幕投手を任された吉田の乱調。緊張から制球を乱して甘い球を配し、初回二死から3番以下に3短長打。2点の先行を許し、試合の主導権を奪えなかったことが挙げられるよう。4季ぶり黒星スタート。

4月7日(日)

審判/C:浅野 I:小林 II:宇佐美 III:山口

試合データ

2回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
帝京大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本体育大学	1	0	1	1	1	0	2	0	X	6

チーム	帝京大学	日本体育大学
本塁打		
三塁打		大木惇 2
二塁打		馬場, 矢澤, 高垣

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
○北山	4	横浜	9	31	2	0

打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	上西	4	宇部鴻城	4	1	1
2	⑦	大木惇	4	東福岡	5	2	0
3	④⑤	三野原	2	東福岡	5	2	3
4	③	猪原	2	大冠	4	2	0
5	⑨	矢澤	1	藤嶺学園藤沢	4	1	0
6	⑥	高垣	3	智辯学園和歌山	4	1	1
7	⑤	稲本	1	福岡大大濠	4	0	0
	4	高山	4	長崎海星	0	0	0
8	(D)	小儀	1	霞ヶ浦	2	1	0
	HD	堀口	2	日大藤沢	0	0	0
	RD	関谷	3	春日部共栄	0	0	0
9	②	馬場	4	八戸学院光星	3	1	0

○ 3番三野原が先制打、北山初完投で初白星

日体大は先制に中押し、ダメ押し。長安 11 安打で6得点し雪辱した。

初回、2番に起用の大木が右中間へ長打、俊足を生かして三塁をおとしいれりと、3番の三野原がすかさず三遊間をゴロで破り、あっさり先制。

三回には左前安打で出塁の上西が二盗に成功し、捕手の悪送球で一気に三進。一死後、三野原の一ゴロ野選で生還。初スタメンの1年生小儀が右中間へ初安打を放った四回には馬場が左中間二塁打で続いて二、三塁とし、上西の二ゴロ野選で3点目を挙げた。

五回には矢澤と高垣の連続二塁打で1点、七回にも大木の右中間三塁打を足がかりに三野原の中前適時打などで2点と、勝負強さを見せつけた。

先発の4年生北山は、いきなり四球を与える立ち上がり。だが、2番以降を3連続三振に。

以後は落ち着いたプレートさばき。きれのよい速球にスライダー、フォークをうまく織り交ぜ、被安打2、与四球3、8奪三振。116球で三塁を踏ませず、初勝利を完封で飾った。

4月20日(土) 審判/C: 滝沢 I: 武藤 II: 宇田川 III: 佐々木

試合データ

3回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
日本体育大学	0	0	3	1	0	0	0	0	0	4
帝京大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

チーム	日本体育大学	帝京大学
本塁打		
三塁打		
二塁打	三野原, 高垣	

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
○吉田	4	大冠	7	23	2	0
川畑	1	乙訓	1	4	0	0
春田	4	波佐見	1	3	0	0

打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	上西	4	宇部鴻城	3	1	1
2	⑦	大木惇	4	東福岡	4	1	1
3	④	三野原	2	東福岡	4	1	2
4	③	猪原	2	大冠	2	0	0
5	⑨	矢澤	1	藤嶺学園藤沢	2	0	0
6	(D)	小儀	1	霞ヶ浦	3	1	0
	HD	ワラス	2	常磐大学	1	0	0
7	⑤	稲本	1	福岡大大濠	4	1	0
8	②	馬場	4	八戸学院光星	2	1	0
9	⑥	高垣	3	智辯学園和歌山	4	1	0

● 上西、大木、三野原見事な3連打、投打で圧倒

下位が好機を築き、上位が返す。鮮やかな攻撃といえた。

三回、バットを短く持つ馬場が中前へ鋭い打球で安打を打ち、一死後、上西が左前へ技ありの軽打。ここで大木がすかさず左前へ適時打し先制。なおも一、三塁から三野原が右翼へ強烈な二塁打を放って2点を加えた。

馬場が死球を得た四回には9番に下がった高垣が意地の一撃だ。左越えへ大きな二塁打を放って一、三塁とつなぎ、上西の中犠飛で4点目を挙げた。チャンスにタイムリーが奪える。快調な試合運びができたようだ。

先発の吉田は丁寧な投球ぶり。制球に気をつけ、7イニングを80球でまとめ、16年秋以来の3勝目。1年生川畑と最上級生の春田が無難に初登板を果たした。



4月13日(土) 審判/C:串田 I:鈴木孝 II:川上 III:田口

試合データ

1回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	R
東海大学	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	4
日本体育大学	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3

チーム	東海大学	日本体育大学
本塁打	平井(2号3ラン)	
三塁打		
二塁打	串畑, 千野, 海野	小儀

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
吉田	4	大冠	8	30	4	2
●森	3	豊川	3	11	1	0

打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	上西	4	宇部鴻城	5	1	0
2	⑦	大木惇	4	東福岡	6	0	0
3	④	三野原	2	東福岡	4	1	0
4	③	猪原	2	大冠	3	1	0
5	⑨	矢澤	1	藤嶺学園藤沢	5	1	0
6	(D)	小儀	1	霞ヶ浦	4	1	1
7	⑤	稲本	1	福岡大大濠	5	2	1
8	⑥	高垣	3	智辯学園和歌山	4	1	0
9	②	馬場	4	八戸学院光星	4	1	0
	H	小林	3	作新学院	0	0	0
	R	関谷	3	春日部共栄	0	0	0

● 延長 11 回、4 番に決勝二塁打浴びる

三野原の四球をきっかけに築いた八回一死満塁。リリーフ小郷の犯した暴投に乗じて3-3と追いつく。手に汗握り、息詰まる展開で延長戦へ。

九回から登板の3年生右腕の森。十一回一死から二ゴロエラーで出塁を許し、二死後、日本代表捕手の海野に左翼フェンスへの二塁打、勝ち越し点を献上した。カウント1ボール後の速球。相手が狙っていた、打ちごろの真ん中低めだった。

六回、新人の小儀、稲本の連続適時打で2点を先取。これを背にした吉田は直後の七回無死一、二塁の場面を招き、6番に右越えへ逆転3ランを浴びた。

日体大は三野原と猪原の連打で築いた初回と、稲本と高垣の快打で作った五回無死一、二塁での拙攻が悔やまれた。

4月14日(日) 審判/C:畠山 I:深澤 II:蛇川 III:増山

試合データ

2回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
日本体育大学	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3
東海大学	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

チーム	日本体育大学	東海大学
本塁打	小林(1号2ラン)	
三塁打		
二塁打	大木惇	串畑

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
○北山	4	横浜	7	30	6	1
森	3	豊川	2	10	1	0

打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	上西	4	宇部鴻城	4	1	0
2	⑦	大木惇	4	東福岡	3	2	0
3	④	三野原	2	東福岡	4	1	0
4	③	猪原	2	大冠	3	0	0
5	⑨	矢澤	1	藤嶺学園藤沢	4	1	0
6	(D)	小儀	1	霞ヶ浦	3	0	0
7	⑤	稲本	1	福岡大大濠	4	0	0
8	⑥	高垣	3	智辯学園和歌山	2	0	0
	H	小林	3	作新学院	1	1	2
	6	三木	1	履正社	1	0	0
9	②	馬場	4	八戸学院光星	3	1	0

○ 代打小林逆転2ラン、東海大戦の連敗「5」で止める

この試合を失うと、3季ぶりの王座奪回に赤信号が灯る。5インニング連続で先頭打者を許す重苦しい試合展開。だが、東海大戦初先発の北山が粘り強いピッチングを披露、三回の1点だけでしのぐ。

この踏ん張りに打線が応える。七回だ。先頭の矢澤が流し打ち安打を左前に放ち、小儀が丁寧に送ると二死後、代打の3年生小林が右越えへ逆転2点本塁打。カウント3-1からの、真ん中へのシュートを力いっぱい振り抜いた。失投を見逃さない、値千金の、劇的な一打といえた。

小林は昨秋の帝京大2回戦、代打で登場。中越えへ逆転の二塁打を奪った「逆転打男」、古城監督の采配がピタリと的中だ。

八回には左中間二塁打の大木が三野原の右飛で三進後、小郷の暴投で貴重な3点目を記した。131球の北山と、2インニング無失点の森の熱投も勝因に挙げられる。

4月21日(日)

審判/C:増山 I:畠山 II:松田 III:浅野

試合データ

3回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
東海大学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
日本体育大学	3	0	0	0	0	2	0	3	X	8

チーム	東海大学	日本体育大学
本塁打		猪原(1号3ラン)
三塁打		
二塁打		矢澤

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
森	3	豊川	4	19	3	1
○北山	4	横浜	5	19	1	0

打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	上西	4	宇部鴻城	4	0	0
2	⑦	大木 惇	4	東福岡	3	2	0
3	④	三野原	2	東福岡	3	1	0
4	③	猪原	2	大冠	4	1	3
5	⑨	矢澤	1	藤嶺学園藤沢	4	1	0
6	(D)	小儀	1	霞ヶ浦	4	2	0
7	⑤	稲本	1	福岡大大濠	4	1	1
8	②	馬場	4	八戸学院光星	4	1	2
9	⑥	高垣	3	智辯学園和歌山	3	1	1

● 猪原が逆転3ラン、東海大から4季ぶり勝ち点

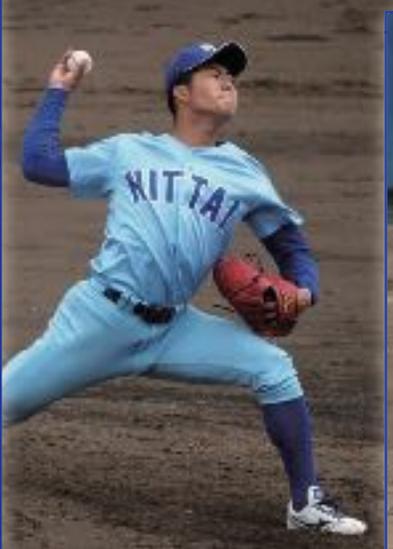
4番の会心の一撃がチームに活気をもたらした。いきなり1点リードされた初回一死一、二塁。猪原はカウント1-2。左腕松山の決め球が「内角への速球」と分析。そのストレートをジャストミート。見事に左翼席へ叩き込んだ。記念すべき自身第1号の逆転3点弾。

大木と三野原がよく粘って四球を選び、好機を演出したのが勝因であるが、昨秋、1年生ながら「強打を高く評価し」、筑波大戦から4番に起用し始めた古城監督の期待に、よく応えた。

これで試合の流れを握った日体大。17年秋以来の先発森と、五回から救援した北山が、いずれも150キロを超す直球ときれのよい変化球を多彩に操り、計11三振を奪って寄せつけない。

各打者は強く振り、2、3番手を厳しく攻める。馬場の右への適時打や稲本の中前適時打などで5点を追加。2連覇中の東海大から17年春以来の勝ち点を挙げた。

このカードでの7点差以上勝利は14点(14-0、95年秋)、8点(10-2、98年秋)に次いでのこと。



4月28日(日) 審判/C:山口 I:伊藤勝 II:後町 III:長尾

試合データ

1回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
武蔵大学	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
日本体育大学	0	0	0	0	0	0	0	1	1X	2

チーム	武蔵大学	日本体育大学
本塁打	石川(1号ソロ)	
三塁打		
二塁打		

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
北山	4	横浜	7	25	2	1
○森	3	豊川	2	9	1	0

打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	上西	4	宇部鴻城	4	0	0
2	⑨	大木惇	4	東福岡	4	1	0
3	④	三野原	2	東福岡	4	1	0
4	③	猪原	2	大冠	3	0	0
5	(D)	小儀	1	霞ヶ浦	4	1	1
6	⑤	稲本	1	福岡大大濠	2	1	0
7	⑦	エドポロ	4	柏日体	2	0	0
		宮木	3	日大三	0	0	0
8	②	馬場	4	八戸学院光星	3	1	1
9	⑥	高垣	3	智辯学園和歌山	2	0	0
	H	小林	3	作新学院	1	0	0
		三木	1	履正社	0	0	0

● 稲本、馬場、小儀が殊勲打、平成最後にサヨナラ勝ち

記憶に残る、劇的な形で5勝目を刻んだ。

攻略できないような投球ではないのに、フライアウト10個、無安打。一方、七回一死後、2本目の被安打が右越えホームラン。

暗雲が漂うなか、救世主は稲本。初めて6番に上がった新人は1点を追う八回無死、カウント1-1からの速球をジャストミートし、中前へチーム初安打。

途中出場の宮木。初球にバントを失敗するも、2ストライク後、バントを一塁前へ決める。ここで、今季バットを短く持って打席に立つ馬場が4年生の意地を見せつけ、見事に左前へ会心のタイムリー打。同点だ。

九回。山内から代わった梅田から2番大木が執念で中前安打を放つと、古城監督は相手がバントシフトを敷くのを見て、三野原に強打のサイン。

三野原は期待に応えて強振、三遊間を高く弾んだゴロで痛烈に破る。続く猪原のバントが投手のエラーを誘って満塁。

この好機に腰痛欠場の矢澤に代わって初めて5番に起用された1年生の小儀が思い切り初球を叩くと、打球は左前へ。なんと鮮やかなサヨナラ安打。各自が勝利への執念をしっかりと見せつけ、チーム一丸でつかんだ勝利だった。

日体大はこの試合が1964年の首都リーグ開幕から1357試合目、810個めの白星(512敗、35分け)を挙げた。



5月11日(土)

審判/C: 畠山 I: 森 II: 山口 III: 深澤

試合データ

2回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
日本体育大学	1	1	0	0	1	0	0	0	1	4
武蔵大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

チーム	日本体育大学	武蔵大学
本塁打		
三塁打		
二塁打		石川

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
○川畑	1	乙訓	5	22	4	0
早稲田	2	宇部鴻城	1	4	1	0
伊藤	2	健大高崎	1	3	0	0
春田	4	波佐見	2	7	1	0

打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	上西	4	宇部鴻城	5	2	0
2	⑨	大木惇	4	東福岡	5	2	0
3	⑥	三野原	2	東福岡	4	0	0
4	③	猪原	2	大冠	5	2	1
5	④	小儀	1	霞ヶ浦	5	2	0
6	⑤	稲本	1	福岡大大濠	4	2	1
7	⑦	大塚	1	日大三	4	0	0
		宮木	3	日大三	0	0	0
8	(D)	エドポロ	3	柏日体	2	0	0
	HD	井阪	1	大阪桐蔭	1	0	0
9	②	馬場	4	八戸学院光星	3	0	0

○川畑、早稲田、伊藤、春田が完封リレーし6勝目

相次ぐ適時エラーで2点を先行、あっさり試合の主導権を握って圧勝した。

初回一死から大木が遊撃内野安打で出塁し二盗、三野原の投ゴロで三進。猪原の三ゴロ失策で幸先よくホームイン。

続く二回一死後、死球のエドポロが二盗に成功すると、馬場四球、上西の右前安打で満塁とし、大木の二ゴロがエラーを誘って加点した。

五回には一死、三野原が四球で歩くと、猪原と小儀が連続安打して満塁。ここで稲本が初球を見事に右前へ適時打した。九回には中前安打の大木が二盗、三野原の右飛で三進後、猪原の中前適時打が飛び出し4点目を記した。機動力を活かした、あっぱれな得点劇だった。

1年生川畑は4月20日帝京大3回戦のリリーフ(1イニング)以来。初の先発の大役。初回二死から連続して四球を与えたが、5番を二ゴロに。以後毎回安打を浴びたものの、決定打を許さずに5回無失点で初勝利を挙げた。以後早稲田、伊藤、春田も無難にゼロ封した。



5月5日(日)

審判/C:朝倉 I:増山 II:川上 III:菅野

試合データ

1回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
日本体育大学	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
筑波大学	0	0	0	0	0	0	2	0	1X	3

チーム	日本体育大学	筑波大学
本塁打		
三塁打		中島
二塁打		石川

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
北山	4	横浜	7	28	4	2
●吉田	4	大冠	11/3	8	1	0

打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	上西	4	宇部鴻城	4	0	0
2	⑨	大木惇	4	東福岡	3	1	0
3	⑤	三野原	2	東福岡	3	1	0
4	③	猪原	2	大冠	4	2	1
5	④	小儀	1	霞ヶ浦	3	0	1
6	(D)	橋本	2	敦賀気比	2	0	0
	HD	エドポロ	4	柏日体	1	1	0
7	⑦	宮木	3	日大三	2	0	0
8	②	馬場	4	八戸学院光星	4	0	0
9	⑥	高垣	3	智辯学園和歌山	4	0	0

● 痛いエラー、守備乱れてサヨナラ負け

5勝2敗同士の首位決戦。手痛いミスを犯し、第1ラウンドを落とした。

北山が七回、安打に死球と暴投をからめられ中前適時打と二ゴロで2失点し、追いつかれる。吉田は2イニング目の九回無死。1年生に右翼への大きなフライ。いったん前進の動きを見せた大木が目測を誤って三塁打に。

日体大ベンチは満塁策を取り、8番を三振に。続く1年生に対し、カウント2-1からの打球は二塁ベース寄りの遊ゴロ。これをつかんだ高垣。捕球態勢が崩れたままでの本塁への送球は捕手から大きくそれ、サヨナラ負けした。

筑波大に6連勝中の日体大は三回一死後、大木の左前安打と三野原の死球で先制機を築き、猪原の中前適時打と小儀の右犠飛で2点をもぎとった。

その後、毎回のように四球を選びながらも、投球が適度に荒れていたせいもあり、1安打しか奪えず、つき放せなかったのが敗因か。



5月12日(日) 審判/C:佐々木 I:桜井 II:長尾 III:菅野

試合データ

2回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
筑波大学	0	0	0	2	0	0	2	0	0	4
日本体育大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

チーム	筑波大学	日本体育大学
本塁打	篠原(2号2ラン)	
三塁打		
二塁打	濱内	

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
●森	3	豊川	4	16	4	0
北山	4	横浜	3	14	3	2
吉田	4	大冠	2	6	0	0

打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	上西	4	宇部鴻城	4	1	0
2	⑨	大木惇	4	東福岡	4	1	0
3	⑥	三野原	2	東福岡	4	1	0
4	③	猪原	2	大冠	4	1	0
5	④	小儀	1	霞ヶ浦	3	0	0
	H	堀口	2	日大藤沢	1	0	0
6	⑤	稲本	1	福岡大大濠	4	1	0
7	⑦	大塚	1	日大三	4	0	0
8	(D)	エドポロ	4	柏日体	3	2	0
	RD	関谷	3	春日部共栄	0	0	0
9	②	馬場	4	八戸学院光星	3	1	0

● 痛恨、適時エラー犯して自滅、優勝の望み断たれる

詰まった打球音。浅めのセンターフライ。3アウト、ピンチ脱出か、とみられた。四回二死。ところが、深追いしすぎた二塁手と中堅手がぶつかって二塁手が落球。左中間二塁打の走者の生還を難なく許す。

これで冷静さを失い、落胆した森は次打者に右前適時打を奪われて2点目。

七回には2番手の北山が二死、四球の走者を三塁に背負い、最も警戒すべき篠原に対し、ストライクを安易に取りにいった初球の球威、制球が甘くなり、右越えに2ラン、突き放された。

この試合を落とすと、優勝が絶望となる一戦。相手打者が初回から積極的に早いカウントから強く振るのに対し、日体大打線には迫力、勝利への強い執念を感じられなかった。

三回一死後、エドポロと馬場が連打、四回には先頭の三野原が右前安打、八回無死、エドポロが中前へ安打するなどして塁上をにぎわした。だが、ちぐはぐな拙攻を繰り返し、8安打無四球で今季初の完封負け。

筑波大戦での連敗、勝ち点を失ったのは17年春以来のこと。東海大が帝京大2回戦に7勝目(2敗)を挙げ、6勝4敗の日体大3季ぶりの王座奪回が不可能になった。



5月18日(土)

審判/C:松田 I:深澤 II:田口 III:星野

試合データ

1回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
日本体育大学	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
桜美林大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

チーム	日本体育大学	桜美林大学
本塁打		
三塁打		
二塁打	猪原	濱野 2

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
○北山	4	横浜	6 2/3	25	5	0
吉田	4	大冠	2 1/3	8	1	0

打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑨	大木 惇	4	東福岡	3	0	1
2	⑧	上西	4	宇部鴻城	4	1	0
3	⑥	三野原	2	東福岡	3	0	0
4	③	猪原	2	大冠	4	1	0
5	⑤	稲本	1	福岡大大濠	4	0	0
6	⑦	エドポロ	2	柏日体	3	0	0
	7	宮木	4	日大三	1	0	0
7	④	小儀	3	霞ヶ浦	4	1	0
8	(D)	大塚	4	日大三	2	1	0
	HD	ワラス	3	常磐大学	1	0	0
9	②	馬場	3	八戸学院光星	2	1	0

○北山～吉田完封リレーで7勝目

古城監督の継投策が的中した。先発の北山が2本目の二塁打を喫した七回。二死三塁の場面でリリーフした吉田は、落ち着いたプレートさばきで8番を三ゴロに。

その吉田は以後、2イニングを被安打1、無四球で1点差を守り抜いた。快速球と変化球を制球よく低めに投げ分け、安定感が感じられた。北山は、積極的に振ってくる8連敗中の桜美林大打線に二回無死、4番打者に初安打を中前へ、四回一死後、3番に中前安打、五回には一死から右中間二塁打を奪われた。

しかし、野手の好守にも助けられ、2併殺を取るなどしてしのいだ。

味方打線は三回、7番の1年生小儀がチーム初安打を中前へ放って盗塁に成功。同級生の大塚がよく粘って四球で歩く。馬場がしっかりバントを成功させ一死二、三塁に、小儀が大木の強い一ゴロで決勝のホームを陥れた。



5月19日(日)

審判/C:河井 I:滝沢 II:土橋 III:三谷

試合データ

2回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
桜美林大学	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
日本体育大学	1	0	0	0	0	1	1	0	X	3

チーム	桜美林大学	日本体育大学
本塁打		
三塁打	矢後	
二塁打	黒川, 野村	

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
森	3	豊川	5	21	4	1
○北山	4	横浜	2	9	3	1
吉田	4	大冠	2	8	2	0

打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	大木惇	4	東福岡	2	0	0
2	⑤	稲本	1	福岡大大濠	3	2	0
3	⑥	三野原	2	東福岡	2	0	0
4	③	猪原	2	大冠	3	0	1
5	④	小儀	1	霞ヶ浦	3	0	0
6	(D)	小林	3	作新学院	2	0	0
	HD	堀口	2	日大藤沢	1	1	0
	RD	三木	1	履正社	0	0	0
	HD	橋本	2	敦賀気比	1	1	0
7	⑨	エドポロ	4	柏日体	3	0	0
	9	倉田	4	駒澤大学	0	0	0
8	⑦	大塚	1	日大三	4	1	0
9	②	馬場	4	八戸学院光星	2	1	0

○ 暴投で勝ち越し点奪い8勝目、北山5勝

一塁手の適時エラーで2-2と追いついた日体大は七回、8番大塚が左前へ自身リーグ戦初安打を放つ。馬場のバントと2番稲本の二塁内野安打で一、三塁の好機を築き、安高の暴投で勝ち越し点を挙げた。初回、2連続四球とバントで築いた一死二、三塁に、猪原の左犠飛であっさり先制したものの、相手の継投策に遭い、苦戦を強いられた。1失点でしのいだ森を救援した北山は六回代わりばな、4番に中前安打。バントを決められた一死二塁に左越えへ勝ち越し二塁打を奪われた。同点の七回一死後、1番に右越え三塁打。死球を与えたあとの一、三塁にスクイズ失敗と空振り三振でしのいだのが勝因、5勝目をマークした。

3連覇を果たした東海大に連敗した筑波大と並び8勝(4敗)、勝ち点4。秋季での巻き返しに期待したい。



春季リーグ戦成績

筑波大に連敗し惜しくも優勝ならず3位、北山気をはき5勝

1点差勝利3つを含めて8勝。この成績をどう評価すべきか。3シーズンぶり24度目の優勝をめざした日体大にとり、この結果が本意であったのは否めないところであろう。

ただ、開幕の帝京大戦、第2カードの東海大戦、いずれも初戦を失いながらも2、3回戦に連勝し勝ち点を連取したとと、完封勝ち4つは讀みたい。

優勝争いのポイントとなった5勝2敗同士の筑波大戦。1、2回戦ともに適時エラーを犯し、連敗したのは大いに悔やまれる。

日体大の伝統は好投手を擁し「守り勝つ野球」であろう。プロ入りした松本航（西武）、東妻（ロッテ）が卒業。今季は吉田、北山、森らの肩に大きな負担がかけられた。

12試合し14失点は決して悪い成績ではない。しかし、いずれも経験、実績不足から150キロの速球を有しながらも、肝心の場面でひ弱さをさらけ出した。

球威不足、制球の甘さをつかれて本塁打など打たれ、4敗を喫した。この春の教訓を糧に、キレのよい、球威抜群の投球でピンチを乗り切るワザ、精神力を身につけてほしい。

1点差の敗退が3。タイムリーエラーがあまりにも多過ぎた。総得点38、チーム打率は2割3分台。打ち勝てなかった。主将の上西や三野原、猪原、高垣ら、軸に期待された好素質の持ち主が本意な成績に甘んじ、打線をけん引できなかった。

ただ、川畑に稲本、小儀、矢澤、大塚ら1年生の台頭は好材料か。新人に付け入る隙を与えた2年生以上の奮起が王座奪回に不可欠だ。

「考える野球」、頭脳を十二分に駆使し、勝利への執念をたぎらせた、ファイトあふれる活気のよい全力プレーを見せてほしい。

勝敗表

順位	大学名	東海大	筑波大	日体大	武蔵大	帝京大	桜美大	試合	勝利	敗戦	勝点	勝率
優勝	東海大		○2-1 ○5-0	○4-3 ●1-3 ●1-8	○4-1 ○7-4	※○4X-3 ○7-3	○4-1 ○4-0	11	9	2	4	0.818
2	筑波大	●1-2 ●0-5		○3X-2 ○4-0	●2-5 ○12-4 ○3-2	○9-1 ●1-4 ○7-2	○1-0 ○1-0	12	8	4	4	0.667
3	日体大	●3-4 ○3-1 ○8-1	●2-3X ●0-4		○2X-1 ○4-0	●2-3 ○6-0 ○4-0	○1-0 ○3-2	12	8	4	4	0.667
4	武蔵大	●1-4 ●4-7	○5-2 ●4-12 ●2-3	●1-2X ●0-4		○3-1 ●0-2 ○1-0	※○5X-4 ○3-2	12	5	7	2	0.417
5	帝京大	※●3-4X ●3-7	●1-9 ○4-1 ●2-7	○3-2 ●0-6 ●0-4	●1-3 ○2-0 ●0-1		○7-5 ※○9-7	13	5	8	1	0.385
6	桜美大	●1-4 ●0-4	●0-1 ●0-1	●0-1 ●2-3	※●4-5X ●2-3	●5-7 ※●7-9		10	0	10	0	0.000

ベストナイン（第一部）

ポジション	氏名	大学	学年	回数
投手	村木 文哉	筑波大学	3	初
捕手	海野 隆司	東海大学	4	3季連続3回目
一塁手	猪原 隆雅	日本体育大学	2	初
二塁手	千野 啓二郎	東海大学	4	初
三塁手	串畑 勇誠	東海大学	3	初
遊撃手	竹中 裕貴	桜美林大学	3	2季連続2回目
外野手	村岡 勇誠	桜美林大学	4	初
外野手	若狭 大地	筑波大学	4	初
外野手	土屋 雄真	武蔵大学	3	初
指名打者	田中 力哉	筑波大学	3	初

表彰選手

表彰	氏名	大学	学年	回数
最高殊勲選手	山崎 伊織	東海大学	3	初
最優秀投手	北山 比呂	日本体育大学	4	初
首位打者	村岡 勇樹	桜美林大学	4	初

Nippon Sport Science University Baseball Club

投手 10 傑

	名 前	大 学	学年	試合数	勝	敗	投球回	自責点	防御率
1	吉田 大喜	日本体育大	4	7	1	1	29 1/3	4	1.23
2	森 博人	日本体育大	3	7	1	3	21 1/3	3	1.27
3	北山 比呂	日本体育大	4	8	5	0	46 2/3	7	1.35
3	原田 泰成	東海大	4	7	2	0	38 1/3	8	1.88
5	岡野 佑大	帝京大	2	5	3	2	28	6	1.93
6	金田 悠太郎	帝京大	3	6	1	2	28	6	1.93
7	村木 文哉	筑波大	3	7	6	1	38 1/3	9	2.11
8	山崎 伊織	東海大	3	5	3	1	29	7	2.17
9	山内 大輔	武蔵大	2	7	3	2	54	14	2.33
10	佐藤 隼輔	筑波大	2	7	2	3	46	12	2.35



打撃 30 傑

	名 前	大 学	学年	試合数	打数	安打	打点	本塁打	打率
1	村岡 勇樹	桜美大	4	9	39	16	1	0	0.410
2	千野 啓二郎	東海大	4	11	50	20	6	2	0.400
3	串畑 勇誠	東海大	3	11	33	13	3	0	0.394
4	若狭 大地	筑波大	4	9	36	12	4	0	0.333
4	竹中 裕貴	桜美大	3	9	21	7	0	0	0.333
6	海野 隆司	東海大	4	11	38	12	4	0	0.316
7	土屋 雄真	武蔵大	3	12	43	13	0	0	0.302
8	篠原 涼	筑波大	4	12	44	13	6	2	0.295
9	猪原 隆雅	日体大	2	12	43	12	6	1	0.279
10	馬場 龍星	日体大	4	12	36	10	3	0	0.278
11	大木 惇司	日体大	4	12	45	12	2	0	0.267
12	姫野 稜涼	武蔵大	4	12	38	10	3	0	0.263
13	稲本 侑星	日体大	1	11	42	11	3	0	0.262
13	大橋 慶久	帝京大	4	13	42	11	6	0	0.262
15	田中 力哉	筑波大	3	12	44	11	11	1	0.250
16	松下 豪佑	武蔵大	1	12	41	10	2	0	0.244
17	吉田 元登	東海大	1	10	33	8	2	0	0.242
18	塚畝 諒	帝京大	4	10	38	9	2	1	0.237
19	杉崎 成輝	東海大	4	11	39	9	8	1	0.231
20	三野原 愛望	日体大	2	12	44	10	5	0	0.227
21	小儀 純也	日体大	1	12	40	9	3	0	0.225
22	上西 嵐満	日体大	4	11	45	10	4	1	0.222
23	高瀬 将太郎	筑波大	4	12	31	6	2	0	0.194
23	川野辺 恭兵	武蔵大	4	10	31	6	1	0	0.194
25	石川 和真	武蔵大	4	12	42	8	2	1	0.190
26	皆神 裕平	筑波大	4	12	37	7	3	0	0.189
26	井橋 俊貴	桜美大	4	10	37	7	4	0	0.189
28	清水 凌	武蔵大	3	12	43	8	2	0	0.186
29	原田 海都	帝京大	4	13	51	9	3	1	0.176
29	星田 嶺央	帝京大	4	13	51	9	3	0	0.176



9月1日(日)

審判/C:深澤 I:大庭 II:伊藤勝 III:水原

試合データ

1回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
日本体育大学	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
帝京大学	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

チーム	日本体育大学	帝京大学
本塁打		
三塁打		
二塁打	小儀	

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
北山	4	横浜	6 1/3	27	5	1
○森	3	豊川	2 2/3	9	0	0

打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑨	矢澤	1	藤嶺学園藤沢	4	1	0
2	⑧	倉田	4	駒澤大学	2	0	0
	H	神田	3	いなべ総合学園	1	0	0
	8	大木惇	4	東福岡	1	1	1
3	⑥	三野原	2	東福岡	4	0	0
4	③	猪原	2	大冠	2	0	0
	H	殿谷	2	市立尼崎	1	0	0
	3	石井	2	愛工大名電	1	0	0
5	⑦	上西	4	宇部鴻城	4	1	0
6	(D)	小林虎	3	作新学院	2	0	0
	HD	ワラス	2	常磐大学	1	0	0
	HD	三木	1	履正社	0	0	0
7	⑤	稲本	1	福岡大大濠	3	1	0
8	④	高垣	3	智辯学園和歌山	2	0	0
	H4	小儀	1	霞ヶ浦	1	1	1
9	②	馬場	4	八戸学院光星	3	1	0

○ 救援森が勝利呼び込む快投、代打小儀決勝二塁打

3年生森の快腕がチームに2季ぶり開幕戦白星をもたらした。

1点を追う七回一死後。初めて開幕戦先発の4年生北山が3連打を浴びた。この満塁のピンチに150キロ右腕の森が満を持して登板。

1、2番を連続三振と、力でねじ伏せ、試合の流れを手繰り寄せる。

味方打線は八回。先頭の1年生稲本が粘って四球を選ぶ。高垣が

バントを失敗し、走者は入れ替わったが、9番馬場が中前安打。初めて1番を任された1年生矢澤もしぶとく右前安打してつなく。この満塁の好機に、途中出場の4年生大木が鮮やかに右前へ適時打し、追いつく。

その裏、続投の森が3連続三振でかたづけ押し寄せムードが漂う最終回。5番上西主将がチーム5本目の安打を中前へ放って出塁。代打の1年生三木がきっちりバントを決める。稲本はやや気負いすぎて右飛に倒れたものの、代打の1年生小儀が期待に応え、左中間を大きく破る二塁打を奪って決勝点を挙げた。

9月2日(月)

審判/C:佐々木 I:武藤 II:桜井 III:山口

試合データ

2回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
帝京大学	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
日本体育大学	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1

チーム	帝京大学	日本体育大学
本塁打		
三塁打		
二塁打	佐藤虹	

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
矢澤	1	藤嶺学園藤沢	5	18	1	1
●春田	4	波佐見	2	11	2	1
早稲田	2	宇部鴻城	2	7	2	0

打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑨	大木惇	4	東福岡	4	1	0
2	⑧	倉田	4	駒澤大学	3	1	0
	H	ワラス	2	常磐大学	1	0	0
	8	宮木	3	日大三	0	0	0
3	⑥	三野原	2	東福岡	4	1	0
4	③	猪原	2	大冠	3	0	1
5	⑦	上西	4	宇部鴻城	3	1	0
6	⑤	稲本	1	福岡大大濠	4	2	0
7	(D)	小林虎	3	作新学院	3	0	0
	HD	安藤	2	健大高崎	1	0	0
8	④	高垣	3	智辯学園和歌山	2	0	0
	H	神田	3	いなべ総合学園	1	0	0
	2	佐藤大	1	いなべ総合学園	0	0	0
9	②	馬場	4	八戸学院光星	2	0	0
	H4	小儀	1	霞ヶ浦	1	0	0

● 相手の気迫に押されて1点差負け

「打倒日体大」に燃える帝京大選手の気迫に押された印象を受けた。

1-1の六回から登板の4年生春田、代わりばな安打と2四球による二死満塁の場面は三振でしのいだ。

続く七回。またも先頭に四球を与える。三塁手のバント処理ミス、バントで一死二、三塁のピンチを招き、1番に右前へ勝ち越し打を喫した。制球に苦しみ、ストライク、ボールがはっきりし、的確に見極められ、甘い球を痛打されたようだ。

日体大打線は制球を重視し、打たせてとるピッチングの広畑によやく四回。初スタメン倉田が左前安打、三野原も中前安打で続き無死一、三塁とし、猪原の左犠飛で追いついた。

しかし、以後も相手投手の術中にはまって安打を奪うのも容易ではない。1点を追う九回二死後、上西と稲本の連打で一、二塁と迫ったが、代打安藤が遊ゴロに打ち取られた。

リーグ戦初登板、初先発の矢澤は5イニングを被安打1、1失点だった。

9月3日(火)

審判/C:下里 I:鈴木孝 II:宇佐美 III:菅野

試合データ

3回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
日本体育大学	1	0	0	0	0	5	1	0	1	8
帝京大学	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

チーム	日本体育大学	帝京大学
本塁打		
三塁打		
二塁打	馬場, 矢澤, 上西, 小儀, 神田	星田, 佐藤虹

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
○森	3	豊川	7	25	4	0
春田	4	波佐見	1	6	3	1
早稲田	2	宇部鴻城	1	3	0	0

打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑨	矢澤	1	藤嶺学園藤沢	4	2	1
	9	宮木	3	日大三	0	0	0
2	⑧3	大木惇	4	東福岡	4	0	0
3	⑦	上西	4	宇部鴻城	5	2	2
4	(D)	猪原	2	大冠	3	1	1
	HD	小林虎	3	作新学院	1	0	0
5	⑥	三野原	2	東福岡	5	1	0
6	④	小儀	1	霞ヶ浦	3	1	0
	H	神田	3	いなほ総合学園	1	1	1
	4	三木	1	履正社	0	0	0
7	⑤	稲本	1	福岡大大濠	2	1	0
8	③	石井	2	愛工大名電	1	0	0
	H	堀口	2	日大藤沢	1	1	0
	R8	倉田	4	駒澤大学	1	0	0
9	②	馬場	4	八戸学院光星	3	1	3

○ 森が先発で初勝利、五回に一挙5得点

「投打二刀流」矢澤と大木の俊足コンビを1、2番。上西、猪原、三野原をクリーンアップに。打線を組み変えた古城采配が的中した。

前日初先発した矢澤が「1番・中堅手」として起用され、いきなり中前へ快打を放つと、大木の一ゴロ、上西の右前安打で一、三塁と攻め立てる。

ここで4番の猪原が2ストライク後の4球目を中前へ適時打。この先制攻撃がチームに活気をもたらす。

先発の森。この先取点で「楽な気持ちでマウンドへ上がった」という。これまでは先発を任されたとき、「打たれてはだめだ。抑えないと期待に応えられない」の気持ちが投球に影響。力んで制球を乱し失点していた。

この日は、初回一死後、中前安打を奪われたが、落ち着いて制球よく投げて後続を断った。中盤では疲れからか球威不足が目についたものの、七回を82球、被安打4、無四球、無失点で乗り切り、先発でうれしい初勝利をマークした。

この森の好投に報いるように、打線も六回、打者10人を送り、馬場と矢澤、上西の3二塁打で大量得点を奪った。1インニング5得点は18年秋の武蔵大1回戦以来のこと。



9月7日(土)

審判/C:松田 I:内堀 II:滝沢 III:杉江

試合データ

1回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	R
東海大学	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
日本体育大学	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

チーム	東海大学	日本体育大学
本塁打		
三塁打		
二塁打		矢澤

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
吉田	4	大冠	5	16	1	0
北山	4	横浜	4	15	3	1
●森	3	豊川	3	10	2	1

打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑨	矢澤	1	藤嶺学園藤沢	5	2	1
2	⑧	大木惇	4	東福岡	3	0	0
	H	殿谷	2	市立尼崎	1	0	0
	8	倉田	4	駒澤大学	1	0	0
3	⑦	上西	4	宇部鴻城	4	1	0
4	(D)	猪原	2	大冠	5	0	0
5	⑤	稲本	1	福岡大大濠	5	2	0
6	④	小儀	1	霞ヶ浦	5	0	0
7	⑥	三野原	2	東福岡	4	0	0
	H	安藤	2	健大高崎	1	0	0
8	②	馬場	4	八戸学院光星	1	0	0
9	③	石井	2	愛工大名電	2	0	0

● 救援森痛恨の1球、サヨナラ負け

3番手森の投じた31球目、打者は好打者の5番藤井。1-1の延長十二回。三塁には中前安打を奪われ、バントと暴投で進んだ走者を置いていた。

カウント2-2からの5球目。内角高め、ストライクギリギリのきわどい速球だった。力いっぱい振られた打球はポトリと右前へ落とされた。空振りか、凡打に取ろうと意図したが、当てられ、打ち気満々の打者の気迫が乗り移ったかのような打球。不運な勝ち越し点を献上した。警戒すべき打者だっただけに四球で歩かせ、次打者で勝負の策もあった。

日体大は三回一死後、8番馬場がよく粘って四球で歩き、石井のバントで送る。二死二塁。この好機に矢澤が右中間二塁打を放って先制に成功した。

だが、四回以降は立ち直った、大学日本代表選手山崎の快速球やスライダー、カットボールなどにほんろうされた。10イニングで3安打、10三振。

延長十一回から登板の3年生左腕松山にも決定打を欠いた。東海大戦では19年春に続き1回戦を落とした。



9月8日(日)

審判/C:星 I:伊藤大 II:加藤 III:菅野

試合データ

2回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
日本体育大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東海大学	0	0	2	0	0	3	0	0	X	5

チーム	日本体育大学	東海大学
本塁打		
三塁打		千野
二塁打	上西	藤井健

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
●北山	4	横浜	5	20	3	2
矢澤	1	藤嶺学園藤沢	1	8	4	1
森	3	豊川	2	7	0	0

打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	(D)	殿谷	2	市立尼崎	4	1	0
2	⑧	大木 惇	4	東福岡	2	1	0
	H	堀口	2	日大藤沢	1	0	0
	2	小口	3	関西中央	0	0	0
3	⑤	稲本	1	福岡大大濠	4	0	0
4	③	猪原	2	大冠	4	0	0
5	⑦	上西	4	宇部鴻城	4	1	0
6	④	小儀	1	霞ヶ浦	2	0	0
7	⑥	三野原	2	東福岡	1	0	0
	H	神田	3	いなへ総合学園	1	0	0
	6	三木	1	履正社	0	0	0
8	②	馬場	4	八戸学院光星	2	0	0
	H8	宮木	3	日大三	1	0	0
9	⑨	倉田	4	駒澤大学	2	1	0

●北山痛打され連敗、打線援護できず

足をからめた攻撃で「打倒東海大」をめざした。だが、強固な守りで阻まれた。

2点を追う四回。先頭の大木が初安打を奪い、二盗を試みたが、日本代表の海野捕手の強肩に憤死。五回にも四球の三野原が果敢に盗塁を仕掛けたものの、またも海野に刺された。

六回には倉田の投手内野安打と大木の四球で二死一、二塁、七回には一死後、上西の右越え二塁打を放ち、反撃ののろしをあげた。しかし、後続が原田に抑え込まれ、完封負けした。

先発の北山は三回、四球を与えた8番に二盗を決められたあと、一死二塁の場面で1番千野に速球を左中間へ先制三塁打。なおも投前へのスクイズ（記録は投手野選）で2点目を許した。

六回には2番手矢澤の制球が甘く、短長打に三ゴロエラー、右前適時打を絡められ3点を失った。東海大戦の連敗は18年秋以来のこと。



9月21日(土)

審判/C:朝倉 I:森 II:三田村 III:松田

試合データ

1回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
日本体育大学	1	0	0	0	0	1	1	0	0	3
大東文化大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

チーム	日本体育大学	大東文化大学
本塁打	矢澤(1号ソロ), 細田(1号ソロ)	
三塁打		
二塁打	殿谷	

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
○吉田	4	大冠	9	32	3	0

打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	矢澤	2	藤嶺学園藤沢	5	2	1
2	⑥	三野原	4	東福岡	3	2	0
3	③	殿谷	2	市立尼崎	4	1	1
4	(D)	猪原	3	大冠	4	1	0
	HD	安藤	1	健大高崎	1	0	0
5	⑨	上西	2	宇部鴻城	3	0	0
6	⑦	細田	4	木更津総合	4	1	1
7	⑤	稲本	1	福岡大大濠	4	1	0
8	④	小儀	2	霞ヶ浦	3	1	0
9	②	馬場	3	八戸学院光星	3	1	0

○ 吉田が初完投を完封で飾る、矢澤先頭打者ホームラン

日体大が長打攻勢と吉田の好投で圧勝した。

矢澤の先頭打者弾を背に、ことし6度目先発の吉田は3者連続三振、上々の立ち上がりを見せる。

二回と四回に内野エラーで出塁2度、六回一死後、初めての四球と初安打で一、二塁と、初めてピンチを招いた。しかし、4年生右腕は威力十分の快速球とスライダー、ツーシームなどを投げ分け三塁を踏ませず、自身初の完封劇を達成した。108球を投げて被安打3、11三振。10月17日開催のプロドラフトに向け、評価を高める上出来の内容といえた。

打線は六回一死後、初先発の細田も力強いスイングで右翼席へ叩き込んだ。続く七回、矢澤の三塁内野安打と、初めて3番で起用された殿谷の一塁手越え適時二塁打で3点目を奪い、援護した。



9月22日(日) 審判/C:田中康 I:川上 II:羽生 III:後町

試合データ

2回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
大東文化大学	0	0	0	0	2	0	1	0	0	2
日本体育大学	0	1	0	0	0	1	0	0	1X	3

チーム	大東文化大学	日本体育大学
本塁打		
三塁打		
二塁打	佐伯	猪原, 稲本, 矢澤

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
森	3	豊川	6	24	6	2
○北山	4	横浜	3	15	4	0

打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	矢澤	1	藤嶺学園藤沢	4	1	0
2	⑥	三野原	2	東福岡	4	0	0
	H	堀口	2	日大藤沢	1	1	1
3	③	殿谷	2	市立尼崎	4	0	0
4	(D)	猪原	2	大冠	2	1	0
	RD	倉田	4	駒澤大学	0	0	0
	HD	安藤	2	健大高崎	1	0	0
5	⑨	上西	4	宇部鴻城	3	1	0
6	⑦	細田	2	木更津総合	1	0	0
	R7	大木	4	東福岡	0	0	0
7	⑤	稲本	1	福岡大大濠	2	1	2
8	④	小儀	1	霞ヶ浦	3	1	0
9	②	馬場	4	八戸学院光星	4	1	0

○ 劇的サヨナラで4勝目、代打堀口が殊勲打

「ワァーッ、よく打った」、「勝った。ナイスバッティング」——。

逆転優勝に夢をつなぐ、土壇場でのドラマチックな連勝劇に、日体

大の一塁側ベンチ、応援スタンドはことしの19試合目にして、一番の興奮のつぼと化し、大歓声に包まれた。

あと一本を欠き、8季ぶりに1部に復帰し思い切り振り、全力プレーで挑戦を続ける大東大に押される。

7番稲本の押し出し四球で六回にようやく追いつく。リリーフの北山が八回一死満塁の大ピンチ。渾身の力を振り絞って連続三振に斬り、流れを押しとどめる。

2-2で迎えた最終回。小儀と馬場が中飛に倒れる。延長突入まであと1アウト。

ここで1番の1年生矢澤が巧みなバットコントロールで左翼線に長打。俊足を飛ばして二塁を陥れると、代打の2年生堀口が1ストライク後の速球をジャストミート。打球は遊撃手の頭上を鋭いライナーで越え、矢澤が歓喜のホームインだ。

実に感動的なサヨナラ劇だった。堀口は今秋開幕の帝京大3回戦に代打で登場。左前安打を放っており、思い切りのよい、力強いスイングが持ち味。

古城監督の熱い期待に応え、見事に勝負強さを発揮した。これで4勝3敗、勝ち点2。



9月28日(土)

審判/C:串田 I:小林 II:田口 III:豊泉

試合データ

1回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
筑波大学	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
日本体育大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

チーム	筑波大学	日本体育大学
本塁打		
三塁打	清水大海 2	
二塁打		

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
●吉田	4	大冠	9	33	4	1

打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	矢澤	1	藤嶺学園藤沢	4	0	0
2	⑦	大木 惇	4	東福岡	3	0	0
3	⑨	上西	4	宇部鴻城	3	1	0
4	(D)	猪原	2	大冠	3	0	0
5	⑤	稲本	1	福岡大大濠	3	0	0
6	③	殿谷	2	市立尼崎	2	0	0
	H	安藤	2	健大高崎	0	0	0
	6	三木	1	履正社	0	0	0
7	⑥	三野原	2	東福岡	2	0	0
	H	堀口	2	日大藤沢	1	0	0
	3	石井	2	愛工大名電	0	0	0
8	④	小儀	1	霞ヶ浦	2	0	0
	H	神田	3	いなべ総合学園	1	0	0
9	②	馬場	4	八戸学院光星	2	0	0
	H	細田	2	木更津総合	1	0	0

● スクイズで決勝点献上し、1安打完封負け

今春完封負けを喫した佐藤に対し、日体大ベンチの作戦は「球数を多く投げさせて後半に勝負」。

1番矢澤は初回、早打ちで初球を一ゴロ、二回には、4番の猪原も1ボール後の2球目を二ゴロ、と「待球策」はチグハグの感じ。

相手の2年生左腕は学生日本代表選手。丁寧に曲直球をコントロールよく、低めへ投げ込まれる。

ようやく四回二死後、12人目の上西が中前へ初安打を奪い、すかさず二盗を決めるも、注意散漫でけん制アウト。八回二死から代打安藤が初めて四球を選ぶも後続なし。結局、テンポよく投げられ113球で7奪三振、1安打完封負けを喫した。

先発吉田は二回二死後、6番の1年生清水に右中間へ三塁打。七回、先頭の清水に右翼線へ長打。右翼手の動きが緩慢で三塁を陥れられる。

7番を左邪飛に打ち取るも、次打者にカウント1ボール2ストライク後の4球目、フォークボールの変化(落ち)が小さくてボールとならず、ストライクゾーンの球を当てられ、投前にスクイズされた。



9月29日(日)

審判/C:河井 I:菅野 II:鈴木研 III:加藤

試合データ

2回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
日本体育大学	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
筑波大学	0	0	0	5	1	0	0	1	X	7

チーム	日本体育大学	筑波大学
本塁打	三野原(1号ソロ)	
三塁打		
二塁打		串田, 座馬, 篠原

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
●北山	4	横浜	5	23	6	5
森	3	豊川	3	13	2	0

打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	矢澤	1	藤嶺学園藤沢	4	0	0
2	⑨	上西	4	宇部鴻城	4	3	0
3	⑤	稲本	1	福岡大大濠	3	1	0
4	③	猪原	2	大冠	3	0	0
	H	大木惇	4	東福岡	1	0	0
5	⑦	細田	2	木更津総合	3	0	0
6	(D)	小林虎	3	作新学院	2	0	0
	HD	ワラス	2	常磐大学	2	1	0
7	⑥	三野原	2	東福岡	3	1	1
8	④	小儀	1	霞ヶ浦	2	0	0
	2	小口	3	関西中央	1	0	0
9	②	馬場	4	八戸学院光星	1	0	0
	H4	神田	3	いなべ総合学園	2	1	0

●北山痛打され連敗、三野原の先制弾も空砲

下手投げ藪崎の投球にタイミングを合わせられなかった。

7番に下がった三野原が三回、右翼席へ先制ホームーを放つ。続く

四回、先頭の上西が右前安打し、初めて3番に起用された稲本のバントで好機をつくるも猪原左飛、細田投ゴロ。

6点を追う六回、代打神田が右前安打を奪ったが、矢澤が一ゴロ併殺打。なおも上西と稲本が連打を放ったものの、猪原が空振り三振に。

先発北山は四回、中前安打とバント安打で無死一、二塁のピンチを招き、最も警戒すべき3番篠原に右前へ先制打。なおも一、三塁から次打者の中儀飛、2本の二塁打で計5失点。

六回にも3番に適時二塁打を打たれ6点目を献上した。苦しまぎれに投げた速球の球威、制球が甘く痛打されたようだ。これで(4勝)5敗目。



10月19日(土) 審判/C:朝倉 I:深澤 II:増山 III:鈴木孝

試合データ

1回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
日本体育大学	1	0	1	0	0	0	0	0	3	5
武蔵大学	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3

チーム	日本体育大学	武蔵大学
本塁打	矢澤(2号ソロ)	松下(2号3ラン)
三塁打	矢澤	
二塁打	上西, 小儀	

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
吉田	4	大冠	7	25	5	3
○森	3	豊川	2	6	0	0

打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	矢澤	1	藤嶺学園藤沢	5	2	2
2	⑨	上西	4	宇部鴻城	5	1	1
3	⑤	稲本	1	福岡大大濠	5	0	0
4	⑥	三野原	2	東福岡	4	0	0
5	(D)	堀口	2	日大藤沢	3	0	0
	RD	安藤	2	健大高崎	0	0	0
	HD	細田	2	木更津総合	1	0	0
6	④	小儀	1	霞ヶ浦	3	1	0
	H4	神田	3	いなべ総合学園	0	0	0
7	③	猪原	2	大冠	1	0	0
	H	橋本篤	2	敦賀気比	1	0	0
	3	石井	2	愛工大名電	0	0	0
8	⑦	大木惇	4	東福岡	2	1	0
9	②	馬場	4	八戸学院光星	1	0	1

○ 馬場のスクイズなどで逆転勝ち、森好リリフ

1敗すれば、明治神宮大会関東予選への出場権を失う、崖っぷちの一戦。1年生に3ランを浴びて逆転され、敗色濃厚。1点を追う九回。代打神田がよく粘って四球を選ぶ。石井が送り、1年時から出場の8番大木が勝負根性を見せつけ左前安打し、二盗を決めて二、三塁。反撃の輪を広げる。

次打者の馬場はカウント2ボール1ストライク後の4球目、低めのフォークボールを三塁前へ、絶妙のスクイズ。三塁手が本塁へ悪送球する間に2者が相次いでホームイン(記録は犠打野選)。逆転に成功だ。

なおも二塁に、矢澤が右越えへ大三塁打を放ち5点目をもぎ取った。

吉田は10月17日のプロドラフトでヤクルトから2位指名。150キロを超える快速球にキレの鋭いフォーク、スライダーを投げ分け六回まで2安打投球。

七回、連打を食らい、無死一、二塁のピンチを招く。それまで連続三振の4番に力勝負を挑み、カウント2-2からの5球目、右中間席へ3点本塁打された。内角速球のサインだったが、リキんで逆球になり、真ん中高めへ。失投だった。

八回から登板の森。153キロを超える快速球、スライダーなどを武器に6人をぴしゃりと抑えた。

10月20日(日) 審判/C:加藤 I:富山 II:宇田川 III:山下

試合データ

2回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
武蔵大学	0	3	0	3	1	0	0	0	0	7
日本体育大学	0	2	0	0	0	0	1	0	0	3

チーム	武蔵大学	日本体育大学
本塁打	鹿倉(1号2ラン)	
三塁打	佐藤海, 土屋	
二塁打	姫野	矢澤2, 稲本

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
●北山	4	横浜	1 1/3	8	3	3
川畑	1	乙訓	2/3	3	0	0
春田	4	波佐見	1 2/3	9	2	3
森	3	豊川	5 1/3	20	4	1

打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑧	矢澤	1	藤嶺学園藤沢	3	2	2
2	⑨	上西	4	宇部鴻城	4	0	0
3	⑤	稲本	1	福岡大大濠	5	2	1
4	⑥	三野原	2	東福岡	3	0	0
5	(D)	堀口	2	日大藤沢	1	0	0
	HD	安藤	2	健大高崎	1	0	0
	HD	橋本篤	2	敦賀気比	1	0	0
6	④	小儀	1	霞ヶ浦	2	0	0
	H4	神田	3	いなべ総合学園	2	1	0
7	③	猪原	2	大冠	4	2	0
8	⑦	大木惇	4	東福岡	3	1	0
	H7	細田	2	木更津総合	1	0	0
9	②	馬場	4	八戸学院光星	2	1	0
	H	殿谷	2	市立尼崎	1	0	0
	2	小口	3	関西中央	0	0	0

● 痛恨、6敗目、関東予選出場を逸す

投手陣が自滅。前半に大量失点し、不甲斐ない一方的な試合展開で、2年ぶりの神宮大会関東予選の出場権を逃した。

先発の北山は立ち上がり、いきなり四球。3番の二直併殺打で切り抜けたが、二回、またも先頭に四球を与える。一死二塁から6番と7番に連続適時三塁打。さらに次打者に二打を許し、あっという間に計3失点。

2番手の春田も球威が乏しく、四回二死後、四球の走者を一塁に置き、9番に右翼席へ叩き込まれた。

なおも一、二塁の場面で救援した森も制球が甘く、代わりばな四球を与えたあと、4番に左前へ適時打され、7点目を失った。

連勝し6勝5敗となれば2位決定戦に持ち込める可能性を有する日体大。3点を追う二回一死後、猪原と大木の連打、馬場の死球で満塁とし、矢澤の一塁線突破二塁打で1点差と追いつけた。

なおも二、三塁の場面、上西の投ゴロで三塁走者が挟まれて憤死、反撃の芽をつぶしたのが惜しまれた。

10月21日(月) 審判/C:宇田川 I:佐々木 II:加藤 III:菅野

試合データ

3回戦

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	R
日本体育大学	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
武蔵大学	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1X	4

チーム	日本体育大学	武蔵大学
本塁打		土屋(2号ソロ)
三塁打		
二塁打	上西	濱田

選手名	学年	高校名	投球回	打者数	被安打	自責
北山	4	横浜	3	15	3	1
川井	4	健大高崎	1	4	1	0
川畑	1	乙訓	11/3	8	1	0
春田	4	波佐見	11/3	7	0	1
早稲田	2	宇部鴻城	1/3	2	1	0
吉田	4	大冠	3	14	4	1
※●矢澤	1	藤嶺学園藤沢				

※連盟規定により、11回よりタイブレーク適用(11回から個人成績は投手の勝敗のみ)

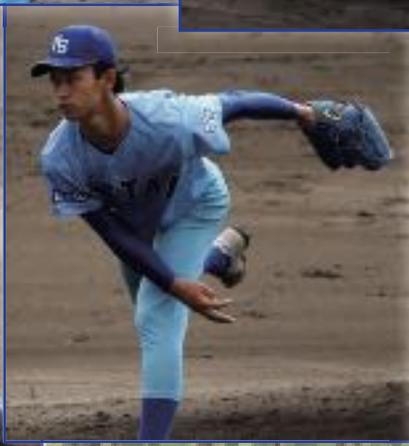
打順	位置	選手名	学年	高校名	打数	安打	打点
1	⑨	上西	4	宇部鴻城	1	1	0
	H9	宮木	3	日大三	2	0	0
2	⑤	稲本	1	福岡大大濠	4	0	0
3	④	神田	3	いなべ総合学園	4	1	0
4	⑧	矢澤	1	藤嶺学園藤沢	4	0	0
5	③	大木惇	4	東福岡	3	0	0
6	⑥	石井	2	愛工大名電	2	0	0
	6	三木	1	履正社	3	1	0
7	⑦	倉田	4	駒澤大学	2	0	0
	H	堀口	2	日大藤沢	0	0	0
	H7	細田	2	木更津総合	1	0	0
8	(D)	高山	4	長崎海星	2	0	0
	HD	橋本篤	2	敦賀気比	1	0	0
9	②	馬場	4	八戸学院光星	4	3	2

● 延長 11 回、タイブレークの末、サヨナラ負け

頼みの吉田が6番手として、3-2と1点リードの八回から登板し、九回、先頭に右越え本塁打を喫して同点とされた。

タイブレークにもつれ込んだ十一回。中堅手の矢澤がマウンドへ。最初の打者のバントは三塁で封殺し、一死一、二塁。しかし、次打者三振後、8番に中前安打を奪われた。この満塁の場面で、9番にカウント3-2からの6球目を左前へサヨナラ打された。

日体大は初回、北山が4番に先制打される厳しい展開。暴投で追いついたあとの七回、馬場の右前適時打で2点を勝ち越したが、突き放せず、あと1本を欠いて7敗目。筑波大に連敗したため、同じ5勝7敗、勝ち点2でも4位となった。



秋季リーグ戦成績

投打で精彩欠き、16年秋以来の7敗

最終週、4勝5敗の日体大は、18年春の2回戦以降、6連勝中の武蔵大と対戦。連勝すれば武蔵大との間での2位決定戦に持ち込める可能性を有していた。だが、投手陣の出来が悪くて粘り切れず2、3回戦に連敗し、屈辱の成績に終わった。

今春と同じ開幕の帝京大戦2回戦でつまずき、第2週の東海大に連敗。5年ぶりに開幕からの連勝街道を突っ走る東海大には勢いの違いを見せつけられた感じだった。

第4週の大東大戦、相手のすさまじい粘りにあって苦戦を強いられた。1回戦では矢澤、細田の本塁打で得点し、ドラフト候補の吉田が初完投、完封の快挙を達成。続く2回戦では、九回二死、走者なしから代打堀口の左中間適時打でサヨナラ勝ちした。

しかし、第5週では、今春に続き、筑波大戦に打線が沈黙し、またも連敗した。12戦して5勝7敗、勝ち点で2位。1試合平均得点2.5、同失点は2.9。完封負け2、1点差負け4。今春に続いてチーム打率が低いうえ、頼みの投手陣も経験不足をさらけ出した。

とともちぐはぐな、投打で信頼感が乏しい感じを与えていた。リーグで優位な立場を築くため、実戦で生かせる選手の主体的な練習への取り組みが必要となるのではなかろうか。

勝敗表

順位	大学名	東海大	武蔵大	筑波大	日体大	帝京大	大東大	試合	勝利	敗戦	勝点	勝率
優勝	東海大		○8-0 ○7-3	○2-1 ○5-1	○2-1 ○5-0	○5-0 ○5-4	○6-2 ○5-0	10	10	0	5	1.000
2	武蔵大	●0-8 ●3-7		○9-3 ○3-1	●3-5 ○7-3 ※○4X-3	○2-1 ○3-2	○2-0 ●3-4	12	8	4	4	0.667
3	筑波大	●1-2 ●1-5	●3-9 ●1-3		○1-0 ○7-1	○2-0 ●2-3 ※○6-5	●1-3 ○4-0 ●0-6	12	5	7	2	0.417
4	日体大	●1-2 ●0-5	○5-3 ●3-7 ※●3-4X	●0-1 ●1-7		○2-1 ●1-2 ○8-1	○3-0 ○3X-2	12	5	7	2	0.417
5	帝京大	●0-5 ●4-5	●5-2 ●0-3 ●0-6	●0-2 ○3-2 ※●5-6	●1-2 ○2-1		○3-0 ○4X-3	12	4	8	1	0.333
6	大東大	●2-6 ●0-5	●0-2 ○4-3 ●0-2	○3-1 ●0-4 ○6-0	●0-3 ●2-3X	●0-3 ●3-4X		12	3	9	1	0.250

ベストナイン (第一部)

ポジション	氏名	大学	学年	回数
投手	山崎 伊織	東海大学	3	初
捕手	海野 隆司	東海大学	4	4季連続4回目
一塁手	千野 啓二郎	東海大学	4	2季連続2回目
二塁手	濱田 祐太	武蔵大学	3	初
三塁手	串畑 勇誠	東海大学	3	2季連続2回目
遊撃手	杉崎 成輝	東海大学	4	初
外野手	松下 豪佑	武蔵大学	1	初
外野手	上西 嵐満	日本体育大学	4	4季ぶり2回目
外野手	光本 将吾	帝京大学	1	初
指名打者	藤井 健平	東海大学	4	初

表彰選手

表彰	氏名	大学	学年	回数
最高殊勲選手	山崎 伊織	東海大学	3	2季連続2回目
最優秀投手	山崎 伊織	東海大学	3	初
首位打者	千野 啓二郎	東海大学	4	初

Nippon Sport Science University Baseball Club

投手 10 傑

	名 前	大 学	学年	試合数	勝	敗	投球回	自責点	防御率
1	山崎 伊織	東海大	3	5	4	0	44	1	0.20
2	原田 泰成	東海大	4	4	3	0	22 2/3	1	0.40
3	佐藤 隼輔	筑波大	2	7	3	1	38 2/3	2	0.47
3	森 博人	日本体育大	3	8	3	1	31	4	1.16
5	藪崎 雅哉	筑波大	4	7	1	2	28 2/3	4	1.26
6	吉田 大喜	日本体育大	4	5	1	1	33	5	1.36
7	山内 大輔	武蔵大	2	7	4	1	55	9	1.47
8	西川 英志	大東文化大	2	4	2	1	25	5	1.80
9	江村 伊吹	大東文化大	3	8	1	5	52 2/3	12	2.06
10	廣畑 敦也	帝京大	4	6	3	3	47 2/3	11	2.08

打撃 30 傑

	名 前	大 学	学年	試合数	打数	安打	打点	本塁打	打率
1	千野 啓二郎	東海大	4	9	36	16	6	1	0.444
2	光本 将吾	帝京大	1	11	43	14	5	0	0.326
3	藤井 健平	東海大	4	10	31	10	4	0	0.323
4	片岡 心	筑波大	2	12	46	14	0	0	0.304
5	上西 嵐満	日体大	4	12	43	13	3	0	0.302
6	松下 豪佑	武蔵大	1	12	50	15	10	2	0.300
7	串畑 勇誠	東海大	3	10	27	8	2	0	0.296
8	馬場 龍星	日体大	4	12	28	8	6	0	0.286
8	矢澤 宏太	日体大	1	12	42	12	7	2	0.286
10	濱田 貴徳	大東大	3	12	35	10	1	0	0.281
11	稲本 侑星	日体大	1	12	43	11	3	0	0.275
12	杉崎 成輝	東海大	4	10	33	9	6	1	0.273
13	塚畝 諒	帝京大	4	10	38	10	1	0	0.263
14	石原 与一	大東大	4	12	46	12	2	0	0.261
15	荻田 侑樹	大東大	4	12	50	13	3	0	0.260
16	清水 大海	筑波大	1	12	43	11	3	0	0.256
17	植村 祐介	東海大	4	10	32	8	5	0	0.250
17	鹿倉 凜多朗	武蔵大	2	12	36	9	6	1	0.250
17	濱田 祐太	武蔵大	3	12	44	11	3	0	0.250
17	星田 嶺央	帝京大	4	12	44	11	2	0	0.250
21	土屋 雄真	武蔵大	3	12	41	12	5	2	0.245
22	佐伯 勇哉	大東大	4	12	41	10	2	0	0.244
23	清水 凌	武蔵大	3	12	42	10	1	0	0.238
24	海野 隆司	東海大	4	10	38	9	10	2	0.237
25	菅原 優之介	大東大	4	12	32	7	1	0	0.219
26	若狭 大地	筑波大	4	10	34	7	1	0	0.206
27	篠原 涼	筑波大	4	12	45	9	5	0	0.200
28	武者 壮輝	大東大	3	12	36	7	4	0	0.194
29	佐藤 虹輝	帝京大	4	12	43	8	4	0	0.186
30	高瀬 将太郎	筑波大	4	12	33	6	3	0	0.182



2019 DRAFT

2年連続! プロ野球選手誕生!!

令和元年10月17日(木)、プロ野球ドラフト会議において日体大のエース吉田大喜投手が、東京ヤクルトスワローズに2位指名を受けました。これで本学の野球部から、2年連続ドラフト上位でのプロ野球選手誕生となります。

ドラフト会議当日は、昨年度と同様に横浜・健志台キャンパス学生食堂においてパブリックビューイングを開催し、プロ野球選手吉田大喜誕生の瞬間を皆で体感いたしました。

今後の活躍を期待しております!



YOSHIDA

DAIKI

吉田 大喜

【投手】



プロ野球ドラフト会議2019

東京ヤクルトスワローズ

ドラフト2位

背番号28

家族

両親、姉1、兄1

身長

175cm

体重

80kg

血液型

O型

趣味

映画鑑賞

ニックネーム

よっしー

好きな投手

前田 健太

球歴

小学校：若鮎スポーツ少年団

中学校：東雲中学校 野球部

高等学校：大阪府立 大冠 高等学校 府大会ベスト4

大学：日本体育大学 明治神宮野球大会優勝（2年）
侍ジャパン 大学代表選出

特徴

遠投：110m、球速：Max151km

球種：ストレート、カーブ、スライダー、
スプリット、チェンジアップ



POWER to the **BASEBALL**

人生に野球の喜びを!



Play Ball,
Play Life.

株式会社 久保田運動具店
KUBOTA SLUGGER

本社 / 〒531-0072 大阪市北区豊崎7丁目3番17号
TEL 06 (6373) 2288
東京支店 / 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-32-1
TEL 03 (5771) 8989
福岡支店 / 〒810-0074 福岡市中央区大手門2丁目9-29
TEL 092 (781) 3991

プレイヤーと直接接することから “ものパートナー” へ。

<http://www.kubota-sluggers.co.jp>

ひとつひとつに応えることで “ONE SLUGGER” に。

遠征・合宿の送迎は シティアクセス相模へ!!

大型・中型・小型貸切バス

CA相模 検索 



CITY ACCESS SAGAMI

TEL.046-245-1306 FAX.046-245-8611



メジャーステージは「NITTAI 野球部」を応援します。

株式会社 ムラタ

〒259-0506 相模原市緑区大井町4-8-10 tel: 046-252-0100 fax: 046-252-3140
詳細については、弊社ホームページをご覧ください。資料のご請求は、弊社までご連絡ください。

www.major-stage.com

プロ・社会人野球で活躍するOB

プロ野球			
卒年	氏名	所属	役職/ポジション等
S53年度	中田 宗男	中日ドラゴンズ	スカウト
S58年度	白武 佳久	広島東洋カープ	スカウト
H02年度	齋藤 充弘	東京ヤクルトスワローズ	スタッフ
H07年度	百瀬 喜与志	ボストンレッドソックス	コーチ
H08年度	小林 雅英	女子プロ野球	総合投手コーチ
H13年度	佐藤 充	中日ドラゴンズ	スカウト
H15年度	小林 宏平	東京ヤクルトスワローズ	トレーナー
H19年度	藤本 康人	福岡ソフトバンクホークス	トレーナー
	松浦 直幸	東京ヤクルトスワローズ	トレーナー
H21年度	靄岡 賢二郎	横浜 DeNAベイスターズ	コーチ
H26年度	中村 道太郎	香川オリーブガイナズ	内野手
H27年度	大貫 晋一	横浜 DeNAベイスターズ	投手
H29年度	谷津 鷹明	栃木ゴールデンブレーブス	外野手
H30年度	東妻 勇輔	千葉ロッテマリーンズ	投手
	松本 航	埼玉西武ライオンズ	投手
	アルカンタラ・アルフレッド	福島レッドホープス	内野手

クラブチーム			
卒年	氏名	所属	役職/ポジション等
S63年度	久保田 浩司	YBC柏	監督
H11年度	米田 和正	大和高田クラブ	副部長
H14年度	山本 貴紀	大和高田クラブ	コーチ
H23年度	齋藤 達也	YBC柏	外野手
H24年度	鈴木 和馬	YBC柏	外野手
H27年度	田中 健太	トランスス	投手
H29年度	石川 勇二	YBC柏	投手
	肥田 直斗	大和高田クラブ	内野手

社会人野球			
卒年	氏名	所属	役職/ポジション等
H05年度	竹間 容祐	日本生命	コーチ
H20年度	津野 祐貴	三菱重工神戸・高砂	内野手
H24年度	高島 裕平	新日鐵住金鹿島	外野手
H25年度	櫻井 義之介	東芝	投手
	平野 智基	三菱日立パワーシステムズ	捕手
	栗林 遥野	三菱日立パワーシステムズ	内野手
	国島 一平	伯和ビクトリーズ	内野手
	小柳 卓也	三菱重工名古屋	外野手
H26年度	吉岡 大悟	Honda 熊本	マネージャー
	樋口 宇大	日立製作所	投手
	島田 直人	新日鐵住金鹿島	外野手
H27年度	古田 恭平	日本製紙石巻	投手
	服部 拳児	三菱重工名古屋	投手
	下川原 駿	室蘭シャークス	投手
	若林 俊充	東邦ガス	内野手
	川満 昂弥	沖縄電力	内野手
	藤澤 直樹	伯和ビクトリーズ	内野手
	野中 涼真	九州三菱自動車	内野手
H28年度	菅沼 賢一	Honda 熊本	外野手
	山中 裕介	新日鐵住金東海 REX	外野手
H29年度	西澤 大	日立製作所	投手
	濱村 和人	新日鐵住金鹿島	捕手
	坂本 耕哉	永和商事ウイング	内野手
	萩野 佑真	スクールパートナー	外野手
	知念 佑哉	沖縄電力	外野手
	富里 優馬	オールフロンティア	外野手
H30年度	船山 貴大	日本生命	内野手
	中村 誠	新日鉄かずさマジック	外野手
	森岡 竜也	オールフロンティア	外野手

OBの活躍

第91回 選抜高等学校野球大会に出場されたOBの方			
所属	役職等	氏名	卒年
札幌大谷高等学校	コーチ	五十嵐 友次郎	H06年卒
	コーチ	飯塚 典也	H28年卒
春日部共栄高等学校	部長	佐藤 充彦	H18年卒
	監督	植竹 幸一	H04年卒
桐蔭学園高等学校	監督	片桐 健一	H08年卒
山梨学院高等学校	コーチ	田中 信幸	H元年卒
履正社高等学校	監督	岡田 龍生	S59年卒
市立和歌山高等学校	部長	岩本 悠	H21年卒
智辯学園和歌山高等学校	総監督	高嶋 仁	S43年卒
明石商業高等学校	監督	狭間 義徳	S63年卒
市立呉高等学校	監督	中村 信彦	S52年卒
筑陽学園高等学校	監督	江口 祐司	S60年卒
	監督	畑尾 大輔	H05年卒
日章学園高等学校	コーチ	打田 幸介	H05年卒

第101回 全国高等学校野球選手権大会に出場されたOBの方			
所属	役職等	氏名	卒年
智辯学園和歌山高等学校	監督	高嶋 仁	S43年卒
霞ヶ浦高等学校	監督	高橋 裕二	S57年卒
履正社高等学校	監督	岡田 龍生	S59年卒
作新学院高等学校	部長	岩嶋 敬一	S60年卒
筑陽学園高等学校	監督	江口 祐司	S60年卒
飯山高等学校	顧問	篠塚 茂則	S61年卒
敦賀気比高等学校	顧問	林 博美	S61年卒
明石商業高等学校	監督	狭間 善徳	S63年卒
山梨学院高等学校	コーチ	田中 信幸	H元年卒
富島高等学校	コーチ	中川 清治	H04年卒
筑陽学園高等学校	部長	下井 英生	H06年卒
海星高等学校	監督	加藤 慶二	H09年卒
鶴岡東高等学校	部長	阿部 雅慶	H13年卒
宇部鴻城高等学校	副部長	藤永 隆士	H15年卒
前橋育英高等学校	コーチ	福井 和真	H18年卒

4年生進路

進路	ポジション等	氏名	出身校
プロ野球（独立リーグを含む）			
東京ヤクルトスワローズ	投手	吉田 大喜	大冠
北海道ベースボールリーグ	投手	山田 雄熙	紋別
社会人野球（硬式）			
東芝	投手	北山 比呂	横浜
日本通運	投手	柴田 大地	日体荏原
東京ガス	捕手	馬場 龍星	八戸学院光星
熊本ゴールデンラークス	内野手	高山 凌	海星
JFE 西日本	外野手	上西 嵐満	宇部鴻城
東邦ガス	外野手	大木 惇司	東福岡
社会人野球（軟式）			
サンデンホールディングス	投手	川井 智也	健大高崎
株式会社ニデック	投手	春田 優成	波佐見
キャプティ	外野手	石田 玄太	前橋育英
横浜信用金庫	外野手	倉田 英明	駒沢大学
株式会社エコプラン	外野手	松本 大輝	桜宮
クラブチーム（硬式）			
YBC 柏	外野手	有住 隆哉	明秀学園日立

令和元年度推薦入学者

ポジション	名前	高校名	身長	体重	投・打		ポジション	名前	高校名	身長	体重	投・打	
投手	上羽 哲平	京都外大西	169	70	右・上	スポーツ推薦	三塁手	重宮 涼	明石商業	178	77	右・右	トップアスリートAO
	酒井 海央	京都国際	183	74	右・上	スポーツ推薦		山田 優太	大阪桐蔭	177	75	右・左	トップアスリートAO
	山田 紘太郎	西尾東	185	80	右・上	スポーツ推薦	遊撃手	松浦 佑星	富島	171	65	右・左	スポーツ推薦
	渡邊 光喜	藤沢西	176	68	左・上	スポーツ推薦		丸田 輝	春日部共栄	180	66	右・左	スポーツ推薦
	櫻井 仁生	愛産大三河	173	78	右・右	スポーツ推薦	左翼手	野田 優人	筑陽学園	178	75	右・右	スポーツ推薦
捕手	高橋 建心	桐光学園	175	75	右・右	スポーツ推薦		溝尾 海陸	明石商業	168	65	右・右	トップアスリートAO
	田代 龍之介	東福岡	180	80	右・左	スポーツ推薦	中堅手	中妻 翔	常総学院	170	72	左・左	スポーツ推薦
一塁手	相沢 利俊	山梨学院	175	72	左・右	スポーツ推薦		岡部 宇裕	明石商業	172	58	右・右	スポーツ推薦
二塁手	杉山 弘将	愛工大名電	176	68	右・左	スポーツ推薦	右翼手	本間 巧真	東海大相模	173	65	左・左	スポーツ推薦
	中島 優仁	佐賀商業	175	75	右・両	スポーツ推薦							
	五味 一朗	大冠	178	78	右・右	スポーツ推薦							

OB会事務局から のお知らせ

● OB 総会について

2020年度のOB総会は12月12日(土)東京世田谷キャンパスでの開催を予定しています。

● OB 会年会費について

年会費は7,000円です。下記のどちらかでご入金ください。

1. 銀行口座自動振り込み

2020年度の引き落とし予定日は**2020年5月下旬**を予定しています。

(自動振り込みをご利用の場合、手数料が発生いたしません)

自動振り込みの手続きがお済みでない方は、用紙をお送りいたしますので事務局までご連絡ください。

※千葉・埼玉・東京・神奈川・岐阜・香川の方については、支部年会費も合わせて引き落としとなります。

2. 指定口座への振り込み

お振り込みを希望される方は、

右記の口座へお振り込みください。

※手数料をご負担願います。

[振込口座] みずほ銀行 世田谷支店 普通 0567034
口座名義 日本体育大学野球部 OB 会事務局

今後とも、日本体育大学野球部へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

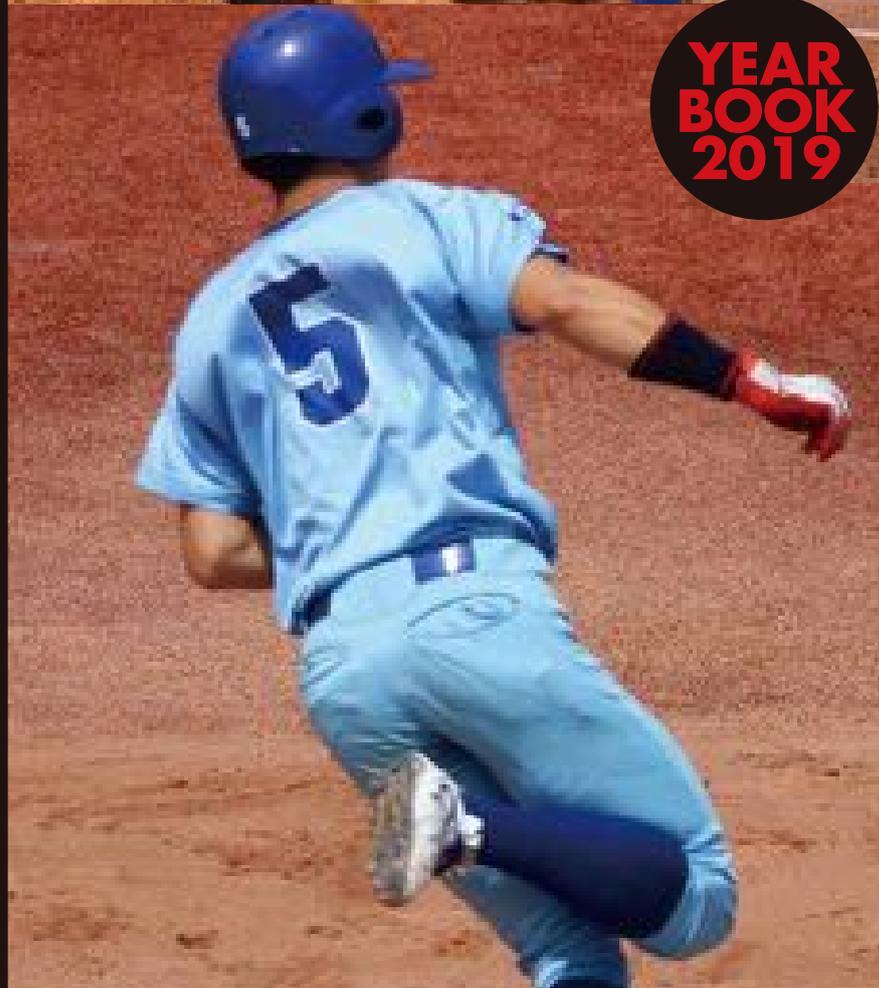
令和元年 12月31日 事務局より

イヤーブック作成にあたり記事をお寄せいただいたフリーライター
の平田明夫氏に深く感謝を申し上げます。また、野球部マネージャー
の池亀諒哉さんをはじめ野球部の皆様の御協力に感謝いたします。

〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221-1
野球・ソフト研究室内
日本体育大学 野球部 OB 会事務局
Tel/Fax:045-963-7926



**YEAR
BOOK
2019**



**日本体育大学
野球部OB会**

横浜・健志台キャンパス 野球・ソフト研究室
〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町 1221-1
TEL: 045-963-7926
<http://nittaibaseball.com/>